

選考した学長の業務執行状況について (平成30年度)

学長は、第3期中期目標の達成に向けて、リーダーシップを発揮して教職員を指揮し、法人の基本的な目標に沿って年度計画を十分に実施した。これらについては、平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書及び国立大学法人東京学芸大学監事の意見からも十分に認められるものである。

教員養成大学を取り巻く状況が厳しい中、入学志願者数の増加をはじめとする諸課題について、将来を見据えた改革を一層加速し、大学の道筋を確かなものにするための強いリーダーシップを発揮していくことが望まれる。

【業務執行状況確認資料】

- (1) 国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づく、選考した学長の業務執行状況に関する意見について（平成30年度）
- (2) 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書

国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づき、選考した学長の業務執行状況（平成30年度）について、上記のとおり確認をした。

令和元年9月19日

国立大学法人東京学芸大学学長選考会議